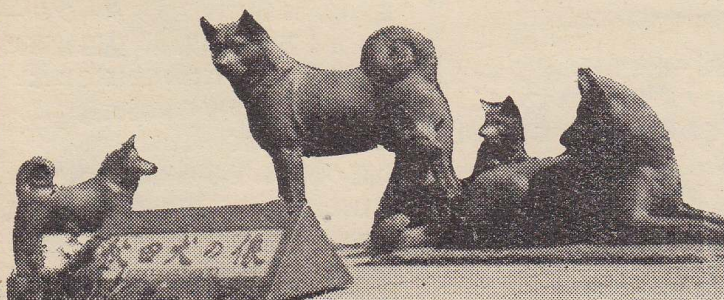


広報
(105号)

おおだて

編集と発行 大館市役所



種苗交換会特集



故横山助成氏の記念碑 見事に完成！



去る10月17日、横山児童公園の開園式と横山助成先生の顕彰記念碑の除幕式が同公園で盛大に行われた。

この日は、故横山助成先生の肉親として未亡人すま子さんと長女の静子さんをはじめ、故人の友人であった元内務大臣後藤文夫氏や、石田、松野両代議士、小畑県知事、などの著名人が多数参列してりっぱに出来あがった公園と記念碑を称賛しながら生前の横山氏をしのんでおりました。

横山助成氏は、当大館市出身で、戦前東京府知事、警視總監、貴族議員、東北振興総裁などの要職を歴任し、とくに東北の開発には大きな功績を残された方です。また、横山氏は、本県出身の後輩には親身になって指導してきたことはよく知られておるところであります。

こうした横山氏も昭和38年3月27日、79才をもって惜しまれながらこの世を去されたのですが、すま子未亡人が故人の遺志によって、その香典返しとして当市に青少年育成費として50万円を寄付されたのです。

市では、さっそくこれを元にして柳町に児童公園をつくり、これが見事に完成し10月17日からはその名も「横山児童公園」と名づけることになりました。

ところが、先輩横山氏の遺徳を慕う後輩知名士の方々が、この公園の開園を機会に故人の碑を建設しようということになり、東京県人会の浅利春次幹事長が世話役をつとめ、故人と親交のあった後藤文夫氏、石田代議士、道路公団総裁の林敬三氏、アラビア石油社長山下太郎氏、竹村吉右エ門氏、古田重二郎氏などの県

内外知名士が積極的に協力し、この資金をもって同公園にりっぱな記念碑が建設されたのです。

記念碑は、高さ約15メートル、横約2メートルの男鹿石に銅板をはめこみ、後藤文夫氏の碑文と福田豊四郎画伯の筆による声よしどりと秋田犬がきざまれ、左上段には横山氏の銅像がはめこまれているものです。

この石が横に長くしたことは、もし高くすると遊んでいる子どもたちに倒れかかる恐れがあるという、未亡人の子どもの思う美しい心づかいから横長がにしたというエピソードが関係者の中から伝わっています。

(写真) 除幕式直後、生前の横山氏の偉業をしのびながら見事完成した記念碑を見つめる後藤文夫氏(左)と佐藤市長

順調に進む本年度の重点施策

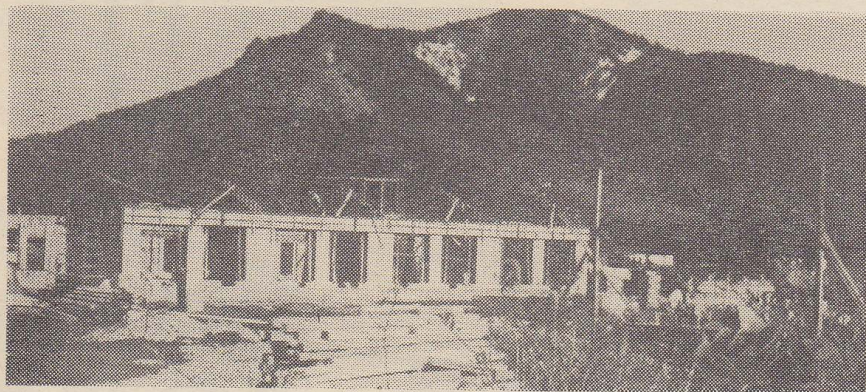
その2 事業建設

道路・橋・住宅・公園などの新設や舗修などは市民生活に欠かせない最も重要な施策の一つです。

現在昭和40年度一般会計予算総額が9億247万2722千円になっておりこのうち土木費が9千9百66万8千円をしめ、予算総額の10.7%がこの建

設事業に投下され、年度末にむけてその計画事業が急ピッチに進められている。

まず、公営住宅の建設については、頭初の計画に基づいて、現在、獅子が森に第一種公営住宅・第二種公営住宅をそれぞれ6棟ずつ建設中で来月下旬の完成をめざして工事が進められている。



(写真) 建築中の市営住宅

道路の舗装工事についてはすでに風呂屋町線、長倉町線も終えており、市道の補修についても、各地区に駐在させている道路工夫を中心に毎日のごとく市道の補修にあたっている。

さらに、8月にはトラクターショベルを450万円で購入し、道路補修に必要な土砂利の搬出にはいままでにない機動力を発揮し、市道の維持改良には、大きな成果をあげている。

公園の新設および整備等については、一丁目には135万円を投じ清水児童公園を新設中であり、間もなく完成する予定であり、桂城公園も160万投じ見事に整備されております。

また、長木川原には延長1,000メートル緑地帯や交通公園を新設する計画のもとに、すでに兩岸の土盛りも完成し来年度にはりっぱな「いこいの場」が出来あがることになっており、この完成が大いに期待されています。

橋については、長年の懸案であった下町橋も、いま1,493万円を投じ建設中であり、大館駅、東大館駅線の街路も着々と進められており、今年度の重点施策としての建設事業の執行は計画どおり順調に進められている。

選挙人名簿を

みましょう

8月から9月下旬にかけておこなった基本選挙人名簿の調製も、市民の皆さんのご協力で無事おわりましたので、次の方法で選挙人名簿をおみせすることになりました。

選挙人名簿にもれていると大変です、のっているかどうかをこの機会にもう一度確かめてみましょう。

◎ 縦らん期間

11月5日～11月19日まで

◎ 場所

◆選挙管理委員会(市役所二階)

◆各出張所

◎ 登録有資格者

◆昭和20年12月21日以前に生れた方

◆今年6月15日まで他市町村から移住して来た方

◎ 異議申出

名簿からもれている方は、11月5日から19日までの間であれば異議申出によって登録できます。

◎ 補充名簿登録申出

基本人名簿にのる資格がない方でも満20才になった方、もしくは、6月16日以後に当市に移住した方はいつでも市民課窓口で補充選挙人名簿の登録申出ができます。

したがって、選挙があるときは(ない場合は明年の基本名簿)は自動的に補充名簿に登録されます。

家庭児童相談室をご利用下さい

市の福祉事務所では、家庭における児童の幸せをはかるため、所内に家庭児童相談室を開設し、児童のいろいろな相談に応じています。

相談室には2名の専門相談員を配置し

◎家庭における児童養育に関するこ

と

◎家庭における人間関係に関するこ

と
◎家庭における児童福祉に関することなどについてご相談に応ずることになっておりますのでご利用ください。

国民年金

35才以上の人は今がチャンス

《保険料未納者
年金未加入者》はとくに注意を

老令年金は、被保険者として60才になるまでの間25年以上保険料を納めなければ年金を受ける資格が得られないことになっております。

しかし、国民年金発足当時36才以上の被保険者にとっては、この25年間の保険料を納めることは不可能であるため経過措置として昭和36年4月1日現在31才以上の人については25年の期間を年令に応じて24年から10年まで短縮しています。

とくに高令者にあたる大正5年4月1日以前に生れておる人(本年49才をこえた人)については、さらに特例措置をとり、年令に応じて7年から4年間保険料を納入しておりますと特例年金が受けられるようになっております。

ところで、国民年金がはじまってからすでに4年半が経過していますので、昭和40年4月1日現在で36才以上の人で、まだ国民年金に加入していない人は

いますぐ加入の手続きをとり、40年度分から保険料を納めなければ期間が短縮されないことになります。

また、今年35才になる人も短縮期間のぎりぎりのところまできておりますので、この年令に該当する方で、まだ年金に加入していない方も今年度中に加入しなければなりません。

加入もれや、保険料未納によって年金の受給資格を失ない、老後の生活確保すらできないような状態を考えてみても、これほど哀れなことはないからです。

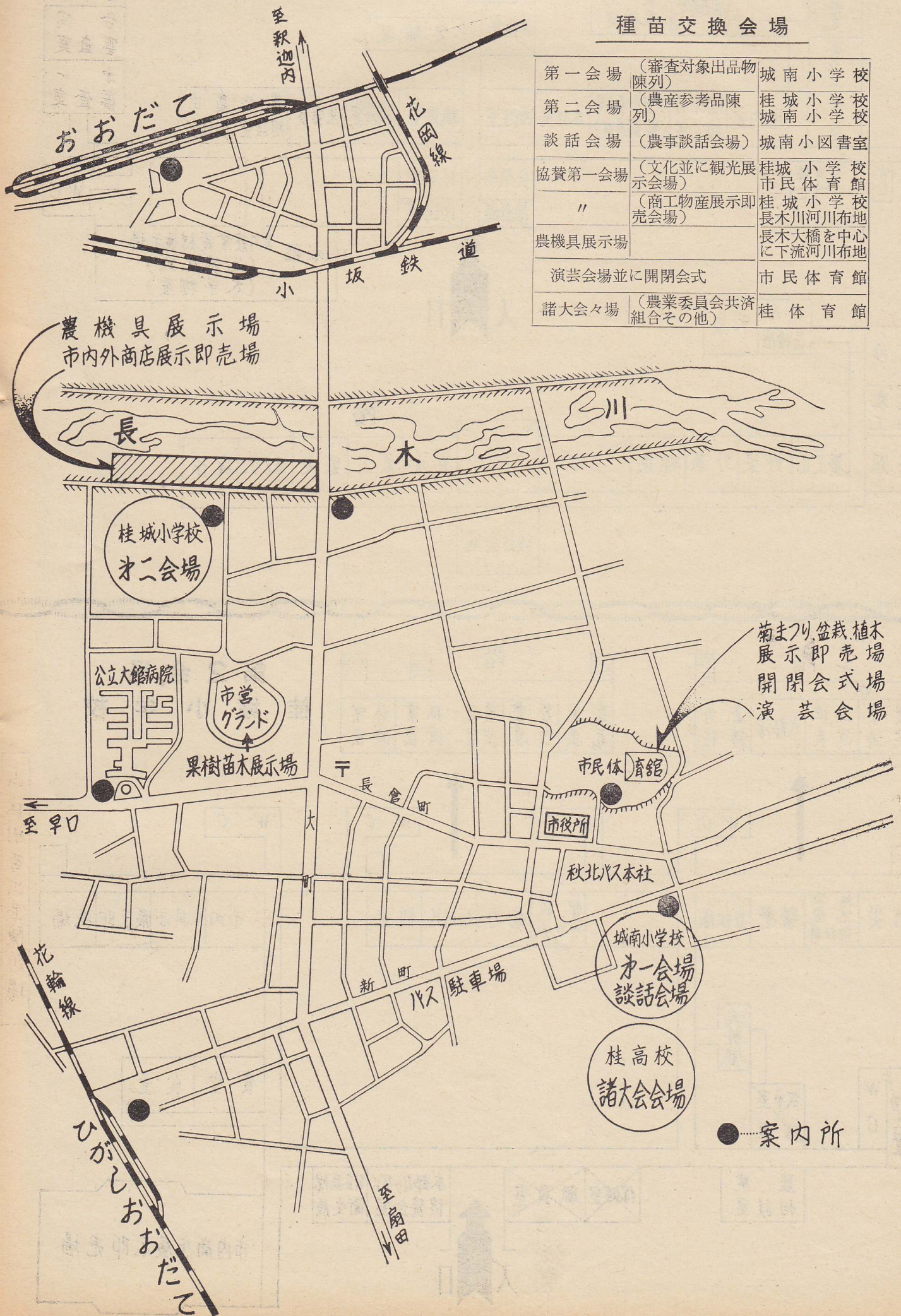
このような事態を生じさせないためにも今から十分心がけて、保険料の滞納は絶対にしないようにしましょう。

保険料は、市内の各銀行、各農協支所それに市役所の窓口で取扱っておりますし、新加入者の手続きは、国民年金係で取扱っておりますので、未加入者の方がおりましたら早やめに年金係までおいでくださるようお願いいたします。

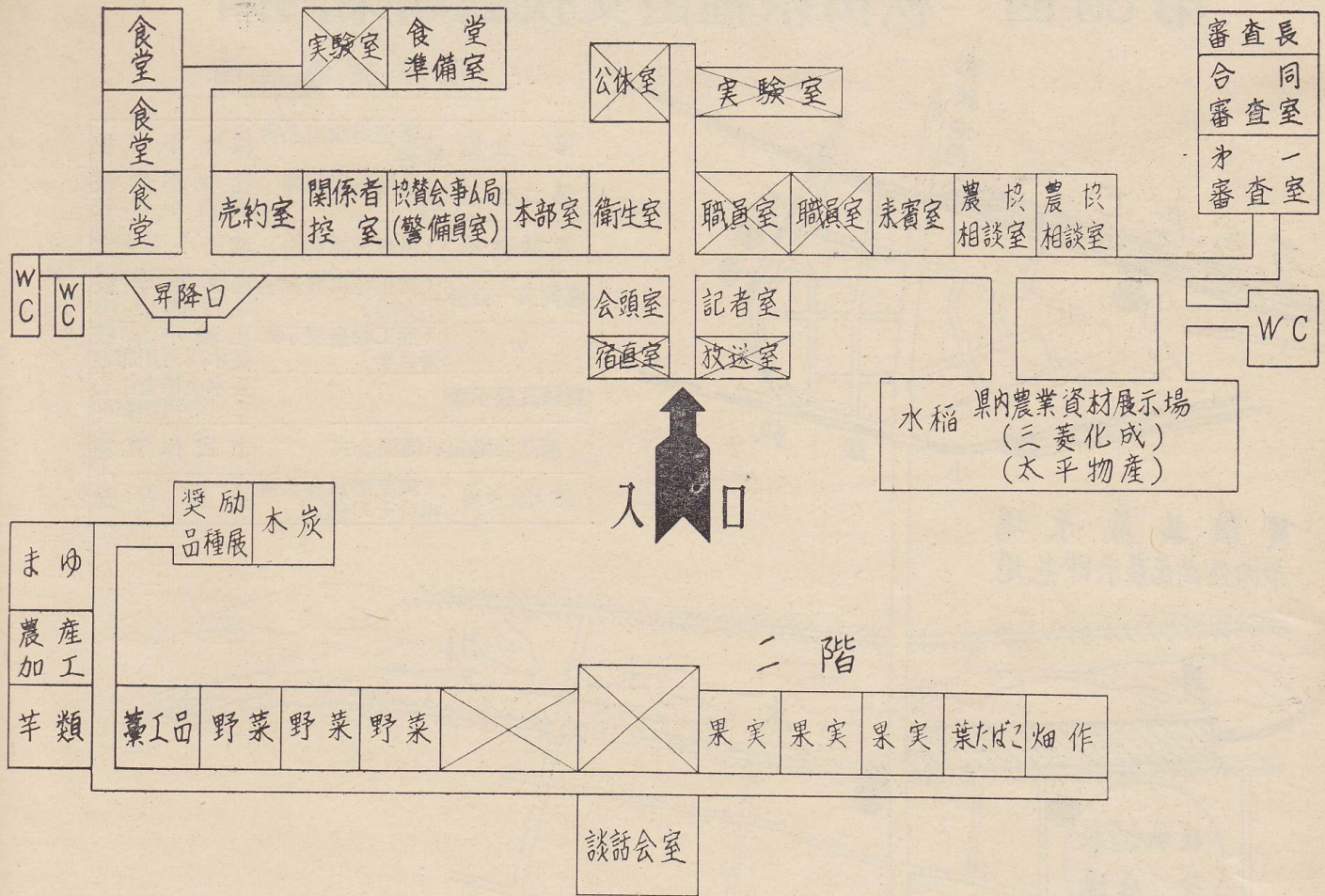
第 88 回 秋田県種苗交換会場案内図

種 苗 交 換 会 場

第一会場	(審査対象出品物陳列)	城南小学校
第二会場	(農産参考品陳列)	桂城小学校 城南小学校
談話会場	(農事談話会場)	城南小図書室
協賛第一会場	(文化並に観光展示会場)	桂城小学校 市民体育館
"	(商工物産展示即売会場)	桂城小学校 長木川河川布地
農機具展示場		長木大橋を中心 に下流河川布地
演芸会場並に開閉会式		市民体育館
諸大会々場	(農業委員会共済組合その他)	桂体育館

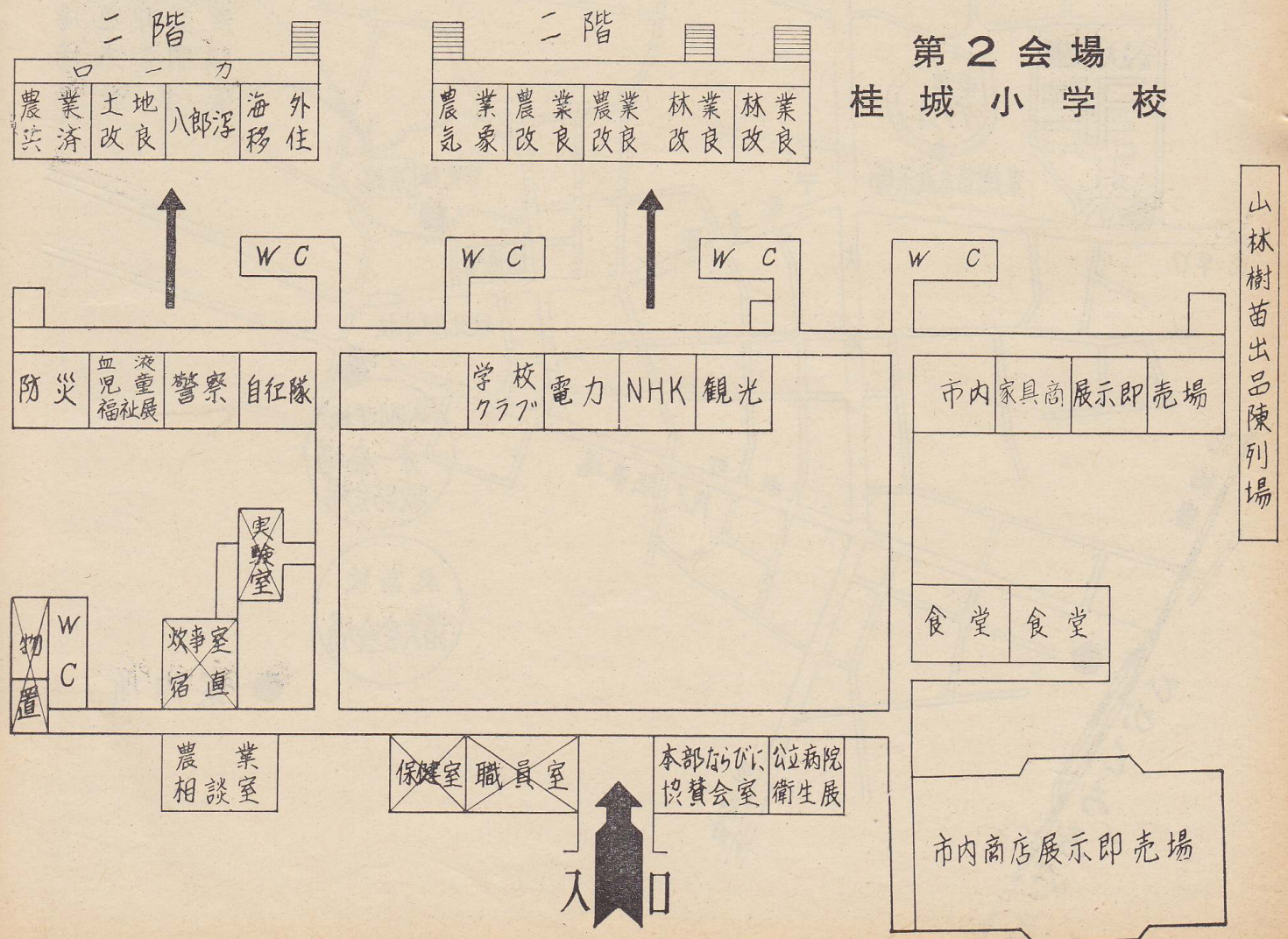


第 1 会场 城南小学校

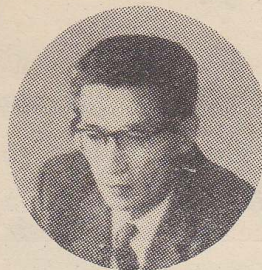


第 2 会场

桂城小学校



種苗交換会を共賛するに当って

共賛するに当って
共賛局長 虹川 文夫

第88回、秋田県種苗交換会が市内の農業団体をはじめ各農家の方々のご協力のもとに、18年ぶりに本市で開催されることになりましたことはこの上もない喜びを感じています

全県下から集められる農民の汗の結晶である農産物の展示、そして研究発表の討論に参加する農民の姿などを想像してみるにつけ、いかにこの会の存在が重要であるかがわかります。

共賛会としても、この交換会のもつ伝統とその意義を深くしみめ、市をあげて協力して参りたいと考えていますので市民各位におかれましても何卒ご協力くださるようお願いいたします。

種苗交換会の沿革

種苗交換会は明治11年12月、秋田市で開かれた「種子交換会」がはじまりです。

毎年のことながら、種苗交換会といえれば必ず話題にのぼる人に「秋田の二宮翁」といわれる石川理紀之助翁をあげることができます。

石川翁は、明治の初年当時、一向に進歩のあとがなく、他人と協力して農業の進歩をはかろうとしなかった本県の農家の実態をふりかえり、当時、県の勸業課に出仕しながら農業改良に尽し、本県はおろか全国的に名の知られた農村の指導者でありました。

当時、石川翁は時の石田県令に意見をのべ、県内から農村指導者として4人の老農（大館の岩沢太兵衛氏、河辺の長谷川謙造氏、雄勝の糸川茂助氏、高橋正助氏）を県に招き、県の勸業係を命じて本県の農業改良に尽すことになりました。

しかし、これだけの指導者をそろえても実績をあげることは容易ではなく、どうしても県民相互の親交と協力によらなければならないことに想いをおこした。石川翁は、明治10年頃から県内の大小区長55名を協議員として勸業議会を設け、産業上有益な会議をもつにいたり、明治11年9月の会議で由利郡平沢町の精農家佐藤九十郎氏から「種子交換会」の意見が提出された。



第88回秋田県種苗交換会は、いよいよ11日から開かれる。

大館での開催は、明治42年（第32回）、昭和2年（第50回）、昭和11年（第59回）、昭和22年（第70回）について、今回で5回目の開催地になります。

しかし、大館市になってからは、今回はじめての開催にあたるわけで、過去4回の開催は、いずれも大館町時代に開催されたものです。そのため今回の開催にあたっては市をあげて、この歴史と伝統ある交換会に協力することにしています。すでに、共賛会事務局では、各会場の

準備も終え、まちの要所要所には歓迎塔も出来あがり、まちは交換会のふたあけを待つばかりになった。

10年に1回しかおとずれない農民の最大の祭典、そして、種苗交換とともに歩んできた秋田県の農業の姿をふりかえってみるにつけても、市政施行以来、はじめての開催地として是非とも成功裡に終らせ、交換会の中核行事の一つである談話会においても、まがり角にきている本県の農業の指針を十分検討し、迷える農民の進路と営農に明るさと呼びもどすような交換会であって欲しいと願念する

その方法は「各区お勤業係は、おのおの担当区内の諸植物の見本、現品を毎年収穫の秋に、秋田市に持参して集まり、一般の人々に展示するとともに、必要な種子を互に交換すべし」というのであった。この意見が取上げられ、この年の12月に第一回の「種子交換会」が開かれたのが、いまの種苗交換のはじまりであると記録されています。

この第一回目の種子交換に集った人々は郡役所の勸業係、腐米改良係や篤農家たちで根付のままの植物見本にその種子と説明を添え、これを根・幹・皮・葉・花・実の6部にわけ展示して優良種子交換の輪旋をしたりした。

また、これと同時に勸業談会を開いて農事の研究に広く意見を交換したのです。石川翁34才の時、この勸業談会こそ種苗交換会の最も重要な行事とされている「談話会」の前身とされています。

明治13年から石川翁の主唱によって種子交換会の出品物に審査を加えることに改め、明治15年には苗木の出陳を加えて会名を「種苗交換会」と改称して今日にいたっております。

その間、日清、日露戦争や第二次世界大戦などに遭遇したが1回も休んでいない。この催しは、前半においては県事業として開催されたが実際の主導権を握っていたのは石川翁を会頭とする「農話連」の人々で、県が経費の関係で見合せた年でも農話連独自で経費を出しあって完

全に交換会の実を継承していました。

明治34年、農会法制定によって、この年から民間団体である秋田県農会が主催し、その後昭和18年からは秋田県農業会、昭和26年からは、秋田県指導農業協同組合連合会、昭和29年からは、秋田県農業協同組合中央会、というように機構の変改によって主催が受けつがれております。

そして交換会は、その内容も規模も回を重ねるにしたがって改善され、石川翁について森川源三郎翁、斎藤宇一郎翁などの先覚者がこの会を育成強化した。

その後農業界の先輩がこれを受けついでますます盛んにしたが、近年、片野重脩氏が交換会の運営に刷新を加え、農業秋田の全国的大行事として確固不動なものにしたのです。

交換会の会場は明治41年までは秋田市で開かれたが42年以来、開催地を各郡市の輪審制として10年に1回ずつ各郡市で開催し、開催地では協賛会を組織し、盛んな協賛行事を織りこんで人出を吸引し地方の繁栄につとめてきた。

交換会の中核行事として主催者が主力を注いでいるのは、農産品の展示と談話であります。この席上会員は、互いに貴重な農事上の体験談を交換して、その体験発表にもとづいて当局もそれぞれ意見をのべて秋田県農業の進路と農営のあり方を真剣に検討しており、ここに種苗交換会がもつ最も重要な意義があるのです。

第88回秋田県種苗交換会行事日程表

開 場 午前 9 時
閉 場 午後 3 時

11月 日	曜	主 催 行 事	時 間	会 場	協 賛 行 事	時 間	会 場
11	木	農業パレード（中央会、市、農機協共催） 新穀感謝農民祭並びに開 会式	午前11時 午後1時	市 内 市民体育館	11月10日に変更 自衛隊東北方面音楽隊演奏会	午後7時	市民体育館
12	金	審 査 発 表 談話会 1 日 談話題 本年の稲作技術 の体験と今後の 経営について	正 午 午前10時	第1会場 談話会場	第9回秋田県農業委員大会 NHKテレビ民謡又時記 NHKテレビ民謡をどうぞ	午前11時 午後1時 午後2時	桂 体 育 館 市民体育館 "
13	土	談話会 第2日 談話題 前日に同じ	午前10時	談話会場	東海林太郎リサイタル（壊しのヒ ットメロデーション）（秋田放送 テレビ） NHKのど自慢（テレビ、ラジオ） 第23回秋田県農業共済大会 秋田県農業改良普及協力会会長大会 全 県 短 歌 会 美術刀剣展覧会 13日 14日	午後1時 午後3時 午前10時30分 午後1時	市民体育館 " 桂 体 育 館 中央公民館 " 羽後銀行会議室
14	日	談話会 第3日 談話題 野菜栽培と今後 の経営について 第6回秋田県農民健康会 議 物 故 者 追 悼 会	午前10時 午前10時 午後2時	談話会場 桂体育館 玉 林 寺	産米改良推進大会 秋の民謡芸能ショウ （秋田放送テレビ） サンテ提供みちのく民謡まつり （ " " ） 秋田、青森、岩手三県対抗馬力大会 第23回秋田犬県北支部展覧会	午前10時30分 午前11時 午後3時 午前9時 "	中央公民館 市民体育館 " 長 木 川 畔 第 1 会 場
15	月	談話会 第4日 談話題 前日に同じ	午前10時	談話会場	第4回農協婦人部料理コンクール クボタ歌謡ショウ（秋田放送ラジ オ） 邦 楽 合 奏 と 舞 踊	午前10時30分 午後1時 午後3時	桂 体 育 館 市民体育館 "
16	火	理 事 会	午後3時	第1会場	ホセキ民謡歌合戦（秋田放送ラジ オ） 郷 土 芸 能 祭	午後1時 午後3時	市民体育館 "
17	水	褒賞授与式並びに閉会式	午後1時	市民体育館			

期 間 中 の 行 事

第1会場 大館市立城南小学校	1 全国優良農機 具実演展示会	長 木 川 原	1 市内外優良商店即売展示	第2会場 長木川協賛会場
第2会場 " 桂城小学校			2 菊 ま つ り	桂 城 公 園
談話会場 " 城南小学校	2 自 衛 隊 展	第 2 会 場	3 声良鶏，比内鶏，展覧会	桂 城 小 学 校
協賛会場 " 桂城小学校	3 山林樹苗出品 陳列	第2会場脇	4 全県植木盆栽市 （庭園燈，展示会）	桂 城 公 園
農機具会場 長木川大橋川原	4 県芸文画色紙 展	ホテヤビル	5 デズニーランド 全県水石展覧会	} 新町元信用組合事務所 大館商工会議所 二階
開，閉会式場 市民体育館		12日～14日	6 生 花 展	